

宇宙基本法案に反対する

本日5月9日、自民・公明・民主の三党は衆議院内閣委員会で、たった2時間の審議で、三党共同提案の宇宙基本法案を可決させました。私たちは、科学・技術の平和利用を願い、宇宙の軍事利用に反対する立場から、この法案に反対し、衆議院内閣委員会の採決に抗議します。

わが国は、1969年の国会決議によって、宇宙開発は平和利用に限り、自主・民主・公開を原則とすることを国是としてきました。この法案は「安全保障」の名においてこの国是を破り、ミサイル防衛計画を始めとした宇宙の軍事利用に道を開き、軍事産業を育成し、軍事利用のために宇宙研究を国家管理下におくことを目指すもので、日本を「アメリカとともに戦争する国」にしようとする憲法九条改悪の動きと一体のものです。

私たちは、この法案は廃案とし、引き続き宇宙開発は非軍事・平和利用に限定し、自主・民主・公開を原則とすることを、あらためて要求します。

2008年5月9日 日本科学者会議事務局長 松川康夫